

# 足利風 -ashikaga-fu

2013  
8月号  
Vol. 27



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* We Shall Overcome \*

「No More Hiroshima/ No More Nagasaki/ No More Fukushima/ Where Next?」  
「鉄骨だけを残して/ 空洞になった/ ドラッグストアの向こうに/ 海が/  
広がっている/ 春の光を/ まぶしく返しながら/ ゆらり/ ゆらりと/  
揺れている/ ああ/ こんなにも/ のどかだというのに/ 海の底には/  
たくさんの/ たくさんの/ 命が/ 眠っている」

「この惨状を見た人が/ まるで地獄だといった/ ちょっと待ってくれ/  
地獄?/ 一つのおにぎりを/ 姉弟三人で分け合い/ 一枚の毛布を三人  
で掛け/ 一本のろうそくの明かりに/ 見知らぬ人が寄り添い/ 一夜を明  
かした/ それがどうして地獄だろう/ 残された土台の上に/ 長い時間を  
かけて/ 積み上げてきた/ 家族のぬくもりが/ まだ残っている/ 子どもたちの歌声が/ 聞  
こえてくる/ それがどうして地獄だろう/ 瓦礫と化した街の空に/ つばめが飛んでいる」・・・  
被災地の路上で、ザラ紙の詩集を配っていた、おばあちゃん。聞けば、若い頃に南三陸志津  
川・気仙沼・石巻の中学の先生だったそうだ。慟哭の街で、みんなを励まそうと、“沈黙の海”  
という追悼詩集をつくった。

NPO・ボランティア活動の底流を流れている敗者復活の思想。古事記には敗者復活の物  
語が数多く散りばめられている。過去に“負”を背負った者が歴史を動かす、これが神話の時  
代から一貫して現れる日本史の基調トーンだ。

かつて、「We Shall Overcome(勝利を我らに)」を歌ったフォークの女王・ジョーンバエズ  
は、敗者復活の象徴でもあった。“雨を汚したのは誰?”“風に吹かれて”・・・時代を超えて、  
正義は彼女の隣にあった。ザラ紙の詩集の最後には、“鎮魂の祈りを・・・”と、あった。

(M生)

## \*「浄土庭園と樺崎寺」について\*

5月13日夜、「浄土庭園と樺崎寺」について、足利市立美術館館長・大澤伸啓氏が講演し  
ました。約30名が聴講し、終了後の質問も多く出席者の関心の高さを感じました。また、質  
問に丁寧に答える大澤氏からは、これに取り組む熱意を感じました。今回の講演で、浄土庭  
園の成立と変遷、その中での樺崎寺の位置付けを再確認できました。浄土庭園の名称は、  
大正時代に定義され、研究の対象になりました。奈良時代からの浄土思想に、平安時代後  
半からの末法思想が加わり、貴族の寝殿造の園池を持つ寺院が誕生したのです。それ以前  
の寺院配置とは異なる極楽浄土のイメージの庭園を持つ寺院です。平等院鳳凰堂が完成さ  
れた姿です。来世の阿弥陀・現世の薬師を配置しました。さらに来迎阿弥陀の信仰から、山  
を背景にした寺院が建立されました。足利の樺崎寺は、このタイプです。貴族から、鎌倉時代  
には武士が浄土庭園を持つ寺院を建立するようになりました。覚鑿の大日即阿弥陀の教え  
から、義兼は運慶作の大日如来像を下御堂法界寺の本尊としました。二体の大日如来像が、  
樺崎寺に存在したことは、義兼の篤い信仰のあらわれです。現在、樺崎寺は、発掘により、  
遺構を確認し、復原整備事業を進めています。足利氏宅跡の鑿阿寺(この本堂が国宝となり  
ました)と共に、足利の大切な文化遺産です。これらを守り、伝え、活用していくことが、今後  
の課題です。

(斎藤糸子・記)



## ＊「責任」と「信頼」 ～苦難を乗り越えて～ ＊

～船山 寛人～

私は両毛青少年国際交流クラブ(RIECY)の生徒会委員長を2年間務めました。当クラブでは、大学生や高校生を中心に国際交流・国際協力を13年間にわたり行ってきました。私が委員長として活動した2年間で最も心に残っているのは今年の3月に行った「未来をどう作るか？モンゴル・日本教育支援事業」です。この支援事業の中で中心となった活動は足利市民会館で行った、学生だけのシンポジウムです。モンゴルの孤児院の高校生と東北の被災地からの高校生を足利に招き、足利の高校生と共に「よりよい未来」についてディスカッションをしました。



今回のシンポジウムは、高校生たちが同世代の多様な意見を聞き、多くの刺激を受け、一つの課題と向かい合うことで、広い視野を持ち、様々な観点から物事をとらえる力を身につけることができる学びの場になったと思います。僕自身も高校生たちから学ぶことが多かったです。

金銭面や人手不足など、途中で何度もくじけそうな場面はありましたが、モンゴルの高校生たちも夢をもって母国に無事帰国し、日本の高校生たちも彼らから多くの刺激を受けたようでした。シンポジウムの感想文を読んでも、同世代の立場の違う高校生たちと共に議論を交わしたことで、「自分を知ることができた、自分なりに大切なことに気づけた、かけがえのない貴重な体験ができた」など、この事業を行って良かったと、心から思える内容ばかりでした。

RIECYの活動は学生が主体となるので、多くの失敗もあり、物事がなかなか進まないことがあります。しかし、私はこのRIECYでの国際交流やボランティア活動を通して、一人一人が自分にできることを、責任をもって、自分なりに遂行すれば、それはきっと社会に貢献できることにつながるということを学べたような気がします。またこのような活動は、協力して頂く多くの方々との信頼関係が大切だということも学びました。「責任」と「信頼」の大切さに改めて気づくことができた委員長としての2年間でした。

## ＊ イースターヴィレッジとともに歩む会 ＊

会長 川田秀幸

『イースターヴィレッジとともに歩む会』は、児童養護施設『イースターヴィレッジ』の後援会です。イースターヴィレッジは、地域とともにより地域に密着し、開かれた法人施設を目指しています。しかし、実際的な活動や支援は多くのボランティアさんに支えられています。『ともに歩む会』も支援団体のひとつとして立ち上げました。

会員の皆様からの会費や寄付金、子供たちの描いた絵をもとにしたカレンダーの販売、毎年12月に行われるチャリティーコンサートなどの益金を、施設の措置費だけでは運営できない資金面のフォローを行っています。また施設の各種行事のボランティアをして、より豊かな生活や子供たちの不安を取り除いたり、いろいろな側面からお手伝いしています。



## ① インフォメーション ①

### ☆ ボランティア NPO 茶論

日 時：平成 25年 9月 9日(月) 午後 7時 ～ 8時 30分  
会 場：足利市民活動センター 3F「みんなの広場」  
内 容：「能と足利文化 part2」  
講師：小鮎 一明さん(県立足利高校 校長)

※ 詳しくはチラシ・HP をご参照ください。

※ みんなの広場では、9/2～9/12の期間、「能面展」が開催されています。

### ☆ リフレッシュママクラス

日 時：平成 25年 9月 5日(木) 午前 9時 30分 ～ 12時  
平成 25年 9月 12日(木) 午前 9時 30分 ～ 12時  
対 象：0歳から就学前までのお子さんがいるお母さん  
会 場：足利市民プラザ401号室(足利市朝倉町264 電話 0284-72-8511)  
定 員：先着 20名 (参加費は無料)  
※ 詳しくはチラシ・HP をご参照ください。

### ☆ ひまわりの花が咲いたよ！

いつも被災地ボランティアへ行っている  
宮城県亘理郡山元町からいただいたミニ  
ヒマワリの種が、花を咲かせました。



## \* センターからのご案内 \*

### ☆ みんなの広場 ～ 8月・9月のご案内 ～

- \* 足利工業高校 産業デザイン科作品展(7月29日～8月8日)
- \* まち映画展(8月12日～29日)
- \* 能面展(9月2日～12日)
- \* あしかが子どものえがおネット展 (9月17日～26日)
- \* 西上州竹皮編でんえもん展(9月30日～10月10日)

### ☆ 相談室 & 講座のご案内

- \* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- \* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

### 編集後記

早いもので、もう8月、センターでは、ゴーヤやひまわりが花を咲かせています。  
日中は、まだしばらく真夏の日差しが照りつけ、夜は、寝苦しい日もあります。  
熱中症には、お気をつけてください。 (撫子)



# “ 講座・相談室のご案内 ”

## 【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
8/7(水)	子どもと大人の イベントづくり	新井 街栄さん (文化体験プロジェクト夢のつばさ代表)
8/21(水)	俳句の世界に遊ぶ	日下部 悲天さん (俳人・大泉町在住)
9/11(水)	初めての海外旅行英会話	奥中 敏則さん (A I Aコミュニケーション委員長)
9/25(水)	子ども支援あれこれ	三田 和子さん (子ども支援ファシリテーター)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

## 【講座】

日付	講座名
8/22(木)	足利の地域福祉・高齢者福祉を考える
	ファシリテーター：大島 裕子さん（さわやか福祉コーディネーター）
9/19(木)	足利のまちづくり・観光戦略を考える
	ファシリテーター：益本 仁さん（あしかがさぽーと会代表）

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
7/29 (月) ～8/8 (木)	足利工業高校 産業デザイン科作品展	足利工業高校 産業デザイン科
8/12 (月) ～8/29 (木)	まち映画展	足利で 「まち映画」をつくる会
9/2 (月) ～9/12 (木)	能面展	島田 廣作さん
9/17 (火) ～9/26 (木)	あしかが子どもの えがおネット展	あしかが子どもの えがおネット
9/30 (月) ～10/10 (木)	西上州竹皮編でんえもん展	前島 美江さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場  
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝